

メニュー

[トップページに戻るヘルプ](#)

ページ一覧

- 自己紹介
- 相談コーナー
- 自由帳
- “観察者”の日記
- Twitterアカウントリスト
- 図書館五七五

研修関係ページ

研修後のページ

- 自己紹介
- フォローアップシート
- 研修を受けて行ったアンケートインタビュー

研修前のページ

- 質問・要望コーナー
- 事業概要・当日プログラム
- 講師・スタッフ紹介

公式Webページ

第3期WS
第2期WS
第1期WS

[このメニューを編集する](#)

お問い合わせはこちら
smileylibrarywiki@gmail.com

最近の更新

2013/04/16

- 自由帳

2012/09/14

- “観察者”の日記

2012/09/04

- 相談コーナー

2012/07/25

- 公的機関Twitterアカウントリスト

2012/05/24

- 利用者ニーズを引き出せ！～図書館アンケートインタビュー徹底分析～

2012/05/23

- メニュー

本研修のアンケート報告

国大図協会職員研修第3期ワークショップ

アンケート・インタビュー報告例として、本研修でのアンケートの結果をご報告いたします。
こちらはWiki用の簡易版です。自由記述欄は抜粋となっておりますのでご了承ください。
全回答や詳しい報告は第3期WSホームページ内にございます。
お手数ですが、[こちら](#) をご覧ください。

概要

平成23年度職員研修「利用者ニーズを引き出せ！～図書館アンケート・インタビュー徹底分析～」では、参加者の満足度や本研修の改善点を知るために、参加者全員に対してアンケートを行った。
参加者45名のうち35名の回答が得られた。
この結果を元に分析・考察を行い、次の機会の参考とする。

調査

研修後に選択式・自由記述式のアンケートを行った。

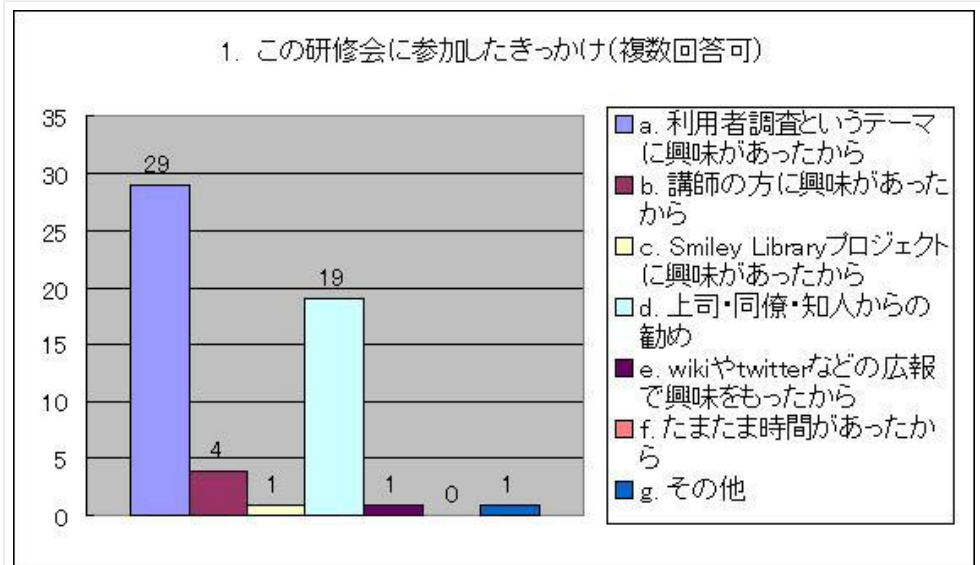
目的

研修の満足度をはかり、次の研修の参考とする。

質問項目と回答

※自由回答は、よせられたものから2,3つピックアップしました。
全回答と詳細報告は第3期WSWebページ 内にございます。

1.この研修会に参加されたきっかけは何ですか。



その他の回答: 第1期WSスタッフだから行く末が見たかった

2.この研修会の開催を何で知りましたか。

2012/05/22

- 図書館五七五
- Smiley Library
- 自己紹介
- 研修を受けて行ったアンケート・インタビュー

2012/03/08

- 本研修のアンケート報告

2012/02/05

- フォローアップシート

2012/01/31

- 質問・要望コーナー

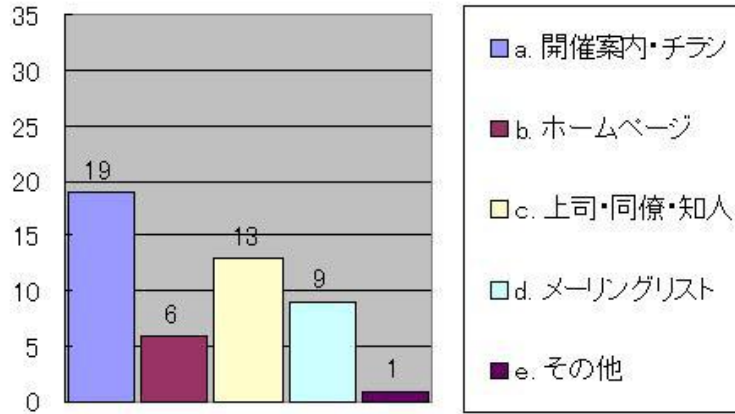
2012/01/27

- 東北生活文化大学
- 宮城学院女子大学

2012/01/24

- 九州大学
- 信州大学
- 会津大学
- 東北芸術工科大学
- 山形県立米沢女子短期大学

2. この研修会の開催を何で知ったか(複数回答可)



その他の回答: 部課長うちあわせ

3. 研修会の開催時期・時間の長さ・会場・広報の仕方についてはいかがでしたか。

A.開催時期



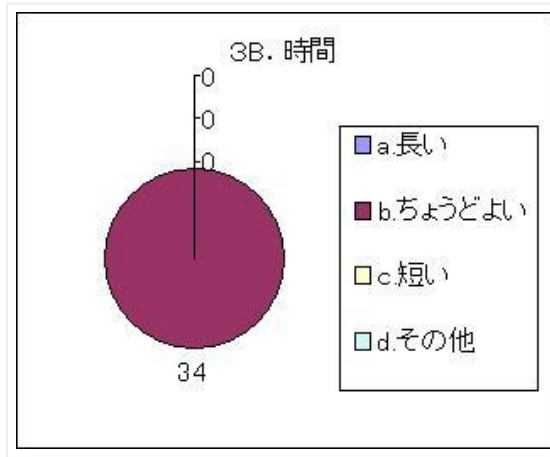
いつが良いか(b.良くなかったと回答した人に対する問い)

- 雪のない時期
- 秋口の方が交通や室内環境の点でよいのでは。

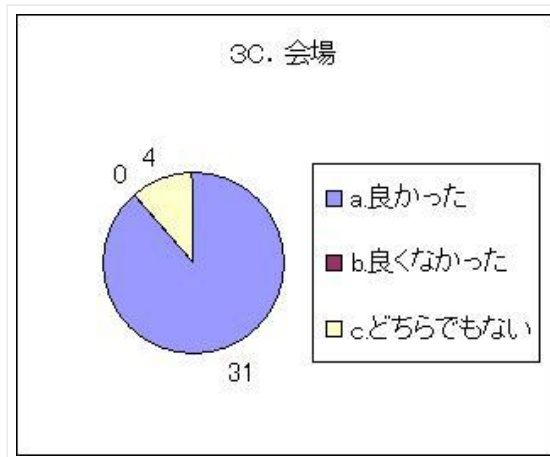
理由(c.どちらでもないと回答した人に対する問い)

- 私立大学では11月の後半に入試があるために入試担当になることを懸念して、出席したくてもできない同僚がいました。
- 試験前で忙しい

B.時間



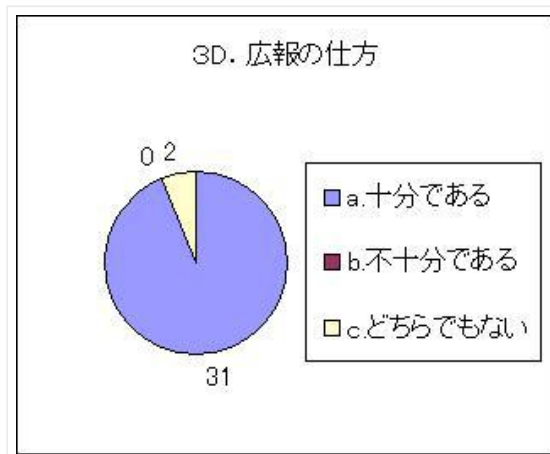
C. 会場



理由 (c. どちらでもないと回答した人に対する問い)

- ・会場自体は良いが、たどり着くまでに少し迷った
- ・狭かった。机と机の間。

D. 広報の仕方

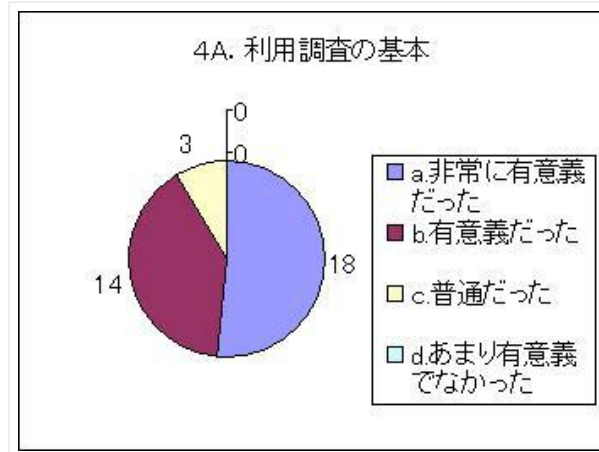


理由 (c. どちらでもないと回答した人に対する問い)

- ・(「広報」→周知が十分か十分でないかということでしょうか。広報をメールやチラシで行ったことによりますか) 事前に講師の方やお話の方向性がよくわからなかった。思った以上に内容が充実したもので、それが事前にわかっていたら他の人も誘ったのにとっても残念。
- ・サイトがあるなら、MLでの告知でも、先頭に入れてもらった方がいいと思います。
- しかもMLや、WS職員告知より、自分で検索した方が早くサイト見つけてしまったのもあり。。。

4. 研修のプログラムについて

A. 利用調査の基本



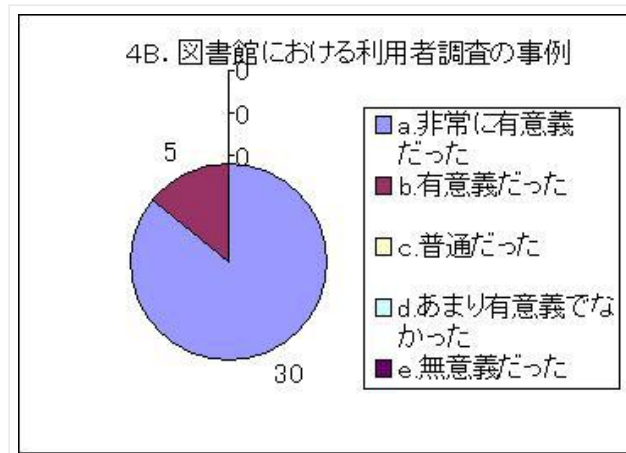
自由記述欄回答

・特に、利用調査の企画の部分において、目的の明確化など、これまであいまいに行っていた調査を見直すポイントを学べたと思う。

・労力と予算がかけられないなら、調査票調査を実施しないという選択肢もあり、というのに納得しました。

回答者を尊重、当然のことですが、忘れがちなので、どのような方法が最適か、今後は考えたいと思います。

B. 図書館における利用者調査の事例



自由記述欄回答

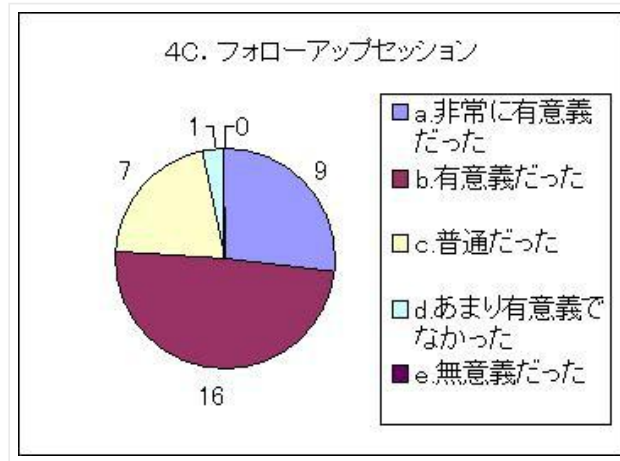
・どのようにニーズを把握して、実現していったかがよくわかりました。

図書館がからんでいけるところから強化していったり、日々の観察からもニーズを拾うなど参考になりました。

調査や観察などが、「こういうことをしたい！」と言ったときに根拠となるという事も重要なことだと思いました。

・調査する側がいやいや調査したら尚更される側も嫌だと思うのでまさしく心躍らせて企画していきたいと思いました。

C. フォローアップセッションについて



自由記述欄回答

- ・信州大さんの調査への講評が実践的で有意義でした。
- ・時間が足りなかったのが残念。
- ・回収率を上げる具体的な手法が聞けてよかったです。

5.Smiley Libraryプロジェクトについて、ご意見・ご感想などがございましたらご記入ください。

- ・意気込みを感じました。近付きがたい雰囲気打破するきっかけになると思います。
- ・復旧作業と日常業務で疲労気味なので、明るいパワーをわけてもらえるような気がします。
- 「つながる」感が出ていいんじゃないでしょうか。
- ・メールでSmiley Libraryの案内がありましたが、なんとなくしか、わからなかったのですが、A3版のランチ(マット)を見て、ちゃんとわかったかんじがします。

6.今回の研修では意見交換・事前事後交流を目的としてwikiやtwitterを活用しています。このことについて、ご意見・ご感想などがございましたらご記入ください。

- ・先日初めてwikiに書き込みしたのですが、twitterはまだやったことがありません。
- 話を聞くと、私のようにまだ使ったことがないという人が多かったので、こういう企画を通して広めていただけると、こちらも勉強になります。
- ・twitterの利用に今だ抵抗を感じる。自分でも遅れていると思うが。
- ・お固いイメージの図書館が、変化する利用者に社会に合わせていくことはとても有意義だと思います。

7.次回の研修会の要望・とりあげて欲しいテーマなどがございましたらご記入ください。

- ・「twitterを大いに利用する図書館！」等、学生との交流や図書館同士のコミュニケーションツールとして、どのような使い方ができるか、実行例、成功例、失敗例を知りたいです。
- ・今回のフォロー。利用者調査の結果をもっと見たい、とか。何年か先に。
- ・利用者教育の実践例(大学1年生向け)

8.その他、お気づきのことやご意見・ご感想などがございましたら、自由にご記入ください。

- ・参加者同士の交流を深めるための配慮(ランチ・休憩時間活用)がよかった。
- ・研修会とSmiley Lプロジェクトが同時進行なのが混乱した。
- イコールなのか、希望者のみなのかわかりづらかった。
- ・アンケート・フォローアップシートの記入時間、名刺交換の時間がもう少し余裕が欲しかったです。
- ランチミーティングの同席者とは話しができたが、それ以外の方とはあまり話しができなかった。

考察

- Smiley Library Project

多くの方が、参加した動機について「利用者調査」に興味を持ったことと回答した。

同時開催の「Smiley Library Project」については事前の周知・理解が行き届いていなかったと思われるが、当日会場でグッズやポスターを見たことにより、理解が得られたようである。

自由記述などからも、図書館同士の継続的な交流の場を求めていることがわかり、当日の名刺交換での出会いや今後のwikiやtwitterを通じた交流に期待が寄せられている。

- フォローアップセッション

時間が欲しかった、という回答が多く見られたが、事前に多くの方から質問が寄せられていた、回収率アップのヒントなどについての解説が聞けたという点では好評を得たので、今後も事前に質問を募集することとした。

- wikiやtwitterなどの新しいツールについて

これまで利用していなかった参加者の中には最初とまどいもあったようだったが、これを機に始めてみたいという意見も見られた。

一方、新しいコミュニケーションツールとしての有用性は感じつつも、自分が始めることについては消極的、否定的な意見も出ている。

今後は工夫を凝らしながら情報発信の手段として利用していきたい。

今後の課題

- 開催時期

研修は早めに行った方がよいと思われる。

企画全体のスケジュールを今期よりも早く行う必要がある。

- プログラム

時間配分は要検討。

場合によっては、満足度が最も高かった実践的な内容を中心にすえて基礎的な部分やフォローアップセッションは縮小することも考慮しなければならない。その際はwikiなどのweb上のツールを活用して研修当日以外でも学べるようにするなどの工夫を今回以上にすることがあるだろう。

- 事前の告知

講師や当日の内容、SLPについて分かりづらかったとの意見も出された。

広報のやり方にも改善の余地があると思われる。

- 今後の活動

今回つなげた絆を今後も継続していきたいと考えている。

wiki上で現在行っている企画を中心に新たな仕掛けをしていきたい。

最終更新:2012-03-08 16:37:48

[ページトップ](#)